

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 7
2024・10・14

1 連邦食料・農業省：2024 年度ドイツ連邦革新園芸賞で 3 社を表彰
—園芸アプリ、再生可能なトレーそして墓の永久ケアー—(2024・9・20)

連邦食料・農業省は、毎年園芸分野における革新的、模範的な業績を表彰している。

政務官シルビア ベンダーは、ベルリンで開催された 2024 年 9 月 20 日に中央園

芸協会 (ZVG) のドイツ園芸デーで、今年の受賞者を表彰した。授賞式はベルリンの農業一食品産業会館で実施された。

これらの経営は、それぞれ異なった園芸の革新を開発した。このため、革新園芸賞 2024 は、カテゴリー”共同/経営組織/経営コンセプト（構想）”で 3 経営が受賞した。



革新園芸賞 2024 の受賞者

・オルデンブルグ植物の苗床会社：

プロジェクト グリーン ラーニング アプリ（緑の学びAPP）

審査委員会の講評

進歩するデジタル化の世界の中で学習のデジタル化は、緑の教育の成功のチャンスでもある。”グリーン ラーニング アプリ”は、緑の分野における農業実習生（高校）と転職者のために、学習－クイズ形態の成果多い特別なプラットホームである。このグリーンラーニング アプリは、1~3 年間の学習期間内に規格化した内容と、対話式の学習方法で利用者を支援している。



開発したアプリ

学習者の知識を発展させ、そして継続的にそれを拡大していく。その際、このアプリは園芸の全ての分野で苗床から果実－野菜栽培、そして鑑賞用植物栽培まで、教育需要に対応している。

このアプリは幾つかの特別な革新的な特徴と機能を有し、一貫性を持って実施されている。

- 1 青少年にとってそれぞれ暇な時間に使用している携帯電話は常に相棒である。限定された学習単位の範囲の中で、遊び心の空間といったユーザーの行動が配慮され、余暇の中に学習も含まれている。
- 2 全ての園芸部門の共同プラットホームとして、アプリの使用が可能である。このシステムは費用上効率的に開発され操作されている。これは特に、教育実習生の減少を背景に、意義深くそして必要なことである。
- 3 このアプリの内容は多くの専門家が準備し、検討しているものである。このため、すでに園芸の専門家、園芸専門学校並びに教育研究所が関わっている。一方、アプリは実践において定着し、他方コストは削減されている。総合的にこのアプリは、評価において優れたそして最も高度な内容で情報を提供しているので、この分野において表彰に値するプロジェクトである。



グリーンラーニング
アプリ



アプリを用いて園芸の実習



ガーデニング アプリで植付け
灌水 収穫を実習



再生可能なトレー

- ・ ベルリンからの「ユーロ植物トレー社」
企業構想・再利用可能なパレット
審査委員会講評

持続性と資源節約は、園芸業自身のためにも、消費者にとっても大きな意義をもつている。ユーロ植物トレー社は、保水力をもった再利用可能なトレーの開発と実践導入でもって、重要な歩みを踏み出した。

これは鑑賞用植物の栽培における持続可能性の観点を、バリューチェーン（価値創造連鎖）の下流においても活用を配慮するものである。

革新的なトレーは昔ながらの伝統的な使い捨てではなく、環境に優しい代替えを提供し、あらゆる分野でより多くの持続可能性の道を支援する。堅固でかつ使いやすいこのトレーは、自然的な資源の節約とゴミの減少に寄与する。

これに加えてこのトレーの標準化によって、自動認識技術（REID）、例えば、段ボールに梱包された商品を箱の外から読み取ることができ、在庫チェックの作業能率を向上させる。

様々な課題解決のためにドイツ国境を越えたマーケッティングを含め、多くのパートナーがこのシステムに参加する必要がある。このようにして今、この種のシステムが効率的に運用することができたユーロ プラントトレーは、商店とサプライヤー（生産プロセスのために部品の提供者）との共同によって成功できる。これはまた、しっかりとした市場導入のチャンスを創り出す。

全体的にこのプロジェクトは、非常に賢明にして調和のとれた組立てでもって、課題解決を実現している。この会社は早い時期に重要なパートナーを、バリューチェーンに沿って結びつけている。これでもって広範な市場浸透を可能にしている。このようなシステムと持続可能性が、基本的な構成要因になっている。このプロジェクトは、実際的な課題（使い捨てゴミの発生）に対処し、そしてその問題を解決している。これは革新賞として表彰に値する。



再生 利用ユーロプラントトレー



このトレイを導入するバリューチェーンに沿ったパートナー



このトレーを開発した会社

- ニーダーザクセン/ザクセン＝アンハルト

墓の永久的なケアのための信託会社

企業構想 “樹木が相続－未来の樹のそばの墓”

審査委員会の講評

この企業構想は、革新的な特徴、未来志向性そして優れた全体構想でもって表彰された。園芸でもって世話をする墓の中心点に、新たな構想でもって植栽された樹木（未来の樹）を植栽する。乾燥ストレスへの高度な耐性と暑さへの抵抗力、霜に対する強さそして病害虫への感受性の少なさという総合的な特徴をもっている。

この樹木は次世代への“生きた遺産”である。いわゆる“後世への生きた遺産”である。中心にあるこの樹（センター）のまわりの墓は、様々なタイプ（埋葬、骨壺）にグループ化されている。家族や親戚など訪問者が、その場に長居ができる場を提供している。

この構想は革新的であり、気候への適応や持続可能性といった中一長期的な視点に立った葬儀のトレンドと結びついている。部分的な要素は既に今、幾つかの墓地でも見られているが、この会社の構想はなお広範に策定され、そして調整され総合的な構想になっている。

これは視覚化されたマーケティング資料でもって、墓地管理者、利用者にアピールしている。そして墓地形成のための魅力的なビジョンを伝えている。それは墓に対する生態学的、美的そして社会的な要請を、現代的な方法で取り込んでいる。この構想実現のためには、様々な墓地と敷地の条件に応じたチェックリスト、植栽プランそして植物のリストが提供される。園芸業界のために園芸生産者の販売額も、墓地園芸者のサービス提供も強化できる。樹木葬など埋葬種類の多様化のトレンドの中にあって、この中一長期的な構想が重要になってくる。



墓の手入れをする信託会社の園芸技術者



「未来の樹のそばの墓」のイメージ図



未来の樹の一種・カエデ

背景：

革新園芸賞は 1997 年以来、連邦食料・農業省から授与され総額 15,000 ヨーロ（約 225 万円）が、賞金として支払われる。審査委員会は、以下の基準に基づいて、提出された社会的な貢献を記した資料を評価した。

- 革新的なレベル
- 園芸経済における革新の重要性
- 実践面での普及の可能性
- 市場チャンス
- 他の園芸経営のためのモデルとしての特徴



2024 ドイツ園芸デー ベルリン会場



会場内の展示ブース



革新園芸賞 審査委員会

2 連邦食料・農業省：共同ケータリングと地域産農産物の活用を奨励

—保育園、学校そして会社など地域に美味しい食事を提供—(2024・9・17)

連邦食料・農業省ニック政務官は、南ラインラントにおけるプロジェクト kira に対して、奨励決定書を手渡した。このプロジェクトは、健康で持続可能な共同ケータリング（訳注）を地域に定着させ、同時に地域の農産物を活用した「地域の



会社のパーティをケータリングで

価値創造（バリューチェーン）」発展させることである。

（訳注・ケータリング：パーティ会場などに出張し、そこで料理をつくり、提供するサービス業。料理だけでなくテーブルの設営や配膳も行う。家庭にも同様に行う。）

ドイツ全土における 13 のモデル地区が、総額 1,200 万ユーロ（約 20 億 4,000 万円）で奨励される。

今日（9月17日）に Dr オーフェリア ニック 政務官は、ケルンのプロジェクト Kira の 5 人のパートナーに 170 万ユーロ（約 2 億 9,000 万円）の奨励決定書を手渡した。

これについてニック政務官が説明した：“我々は全ての人に美味しい食事を、もっと簡単に提供したい。このため、連邦政府は食料戦略を実施している。その際、1 日当たり食事約 4,000 万食を提供している共同ケータリングは、効果的な手段である。我々はモデル地域コンペティションでもって、地域の農業生産者、食品提供者、小売業者、消費者を結びつける。

我々は保育所、学校、会社そしてクリニック向けのケータリングを、地域的に持続可能なそして将来を見据えて改善する。プロジェクト Kira は、農場から食卓の皿までの全体的な価値創造チェーンに沿って、革新的な物流構想を開発する。我々はこのプロジェクトから意義ある知見を期待している。”

ニック政務官は 5 つの連携パートナーに対して、総額 1,732,300 ユーロ（約 3 億円）の奨励決定書を手渡した：

- ◎ オッフェンブルグ技術・経済・メディア応用科学大学 奨励額・104,894 ユーロ（約 1,783 万円）
- ◎ ビオラント・有機生物農業ラインラントプファルツ/ザールラント協会 奨励額・74,239 ユーロ（約 1,262 万円）
- ◎ ケルン応用科学大学 奨励額・554,536 ユーロ（約 9,427 万円）
- ◎ サウス ヴェストファーレン応用科学大学 奨励額 59,730 ユーロ（約 1,015 万円）
- ◎ コーディネート ケルン一周辺地域栄養評議会 奨励額 93,890 ユーロ（約 1 億 5,961 万円）

Kira は今活動している 3 番目のモデル地域である。南部ラインラント都市圏にある”家庭外ケータリング”地域提供ネットワーク イニシアチブのこのプロジェクトは、2024 年 10 月 1 日から 2027 年 9 月 30 日まで 3 年間実施される。

特別な焦点は地域マーケティングのための物流問題解決と、家庭外ケータリングに対する有機証明済みの産物におかれている。この結果、策定された構

想は可能な限り他の地域に移転され、必要に応じてさらなる地域に適用される。



地域における栄養転換のプロジェクトに取組むケルン応用科学大学



プロジェクトをコーディネートするケルン栄養栄養評議会

背景：

1月中旬の閣議において、連邦食料・農業省の管轄で策定された栄養戦略「ドイツのための良い食事」が採択された。これでもってあらゆる人々が、出身、教育または財力に関係なく、健康で持続可能な食事を簡単に摂ることができる。

これはドイツ連邦政府のこの種の最初の戦略である。保育園、学校、会社そして病院等においてニーズに適応し、バランスのとれたそして持続可能な共同ケータリングは、この栄養戦略の中心的な目標の1つである。

この共同ケータリングでの食事提供は、現地からの地域産物を提供し、持続可能に方向づけられ、より強い需要によって地域に恩恵がもたらされる。そのため、連邦食料・農業省はモデル地域コンペティション「地域における栄養転換」をスタートさせた。6月以来、それぞれの地域において活動に着手している。



小学校にケータリング食事の提供



高齢者施設へのケータリング



入院患者に地域産物の料理提供



ケータリングのスタッフ



地域産の有機野菜を食材に



地域の有機乳製品も

3 ドイツ森林ディー：森林と知識をモットーにスタート

一気候変動に強い森林は国民共同の課題ー (2024・9・24)

オズデミール大臣：我々は森林を護り、活用することで森林の気候変動耐性を強化する。連邦食料・農業大臣オズデミールは、今日（9月24日）エバース バルトにおけるドイツ森林デー2024を開催した。



これでもって300以上の活動のためのスタートの号砲を発した。今週末に連邦全域の森林において、多様な地域活動が提供される。この多様性には、専門的な研究テーマに関連した実践活動またはガイド付きハイキングなどが含まれている。「森林と知識」のモットーのもとに今年の森林デーは、教育の場としての森林に焦点をあて、そして自然科学的、社会文化的な森林研究の重要性に关心を喚起する。

これについてオズデミール大臣は述べた：“森林は我々のアイデンティティの一部であり故郷である。例えばドイツ人一般の感覚において、ドイツの森を自らの森として認識している。ここに私はドイツのロマン主義を感じている。しかし、今我々の森は、気候変動の強い圧迫のもとにある。5本に1本のみが健全である。我々は森を気候変動に強くし、そして今ある森林の現状を安定させねばならない。

今これを可能にする枠組みを必要としている。このため、私は古い連邦森林法を、50年ぶりに改訂する作業を開始した。つまり、保護そして活用することを基本に全力を傾注する。我々は森林所有者を孤立させず、そして森林を気候変動に強靭な混交林への森林転換を奨励する。我々はこれを実現するために、「森林一気候一パッケージ」に数億ユーロ（1億ユーロ 約170億円）を準備している。

今年は EU 共同課題・農業構造と海岸保全の改善の分野で、約 2 500 ヨーロ（約 212 億 5,000 万円）を予定している。しかし、この政策実施に伴う条件に無理に結びつけてはならない。今、我々の森林を将来のために、管理を強化しなければならない。このことは我々の責任であり、私はこれを国民共同の課題として受けとめている。”

背景：

2016 年以来、連邦食料・農業省は毎年 9 月の第 3 週末に、ドイツ森林デーを開催している。これは毎回異なった重点テーマのもとに、そして選定されたパートナーによって支援されている。ドイツ森林デー 2024 のパートナーは、ドイツ森林評議会 (DFWR)、自然一環境教育研究会 (ANU) と林業研究機関連盟 (DVFFA) である。ドイツ森林デーの重要な要素は、ドイツ全域で開催されることである。森林管理者、森林所有者、自然保護—スポーツ連盟そして余暇連盟、森林に関心をもつ人々が、森林に親しむことを目的に一堂に会する。

ドイツ森林デー300余の活動



オズデミール大臣開会挨拶

最新の林業機械の展示

森林の知識掲示



木材を学ぶ

森林の説明

ガイドつきハイキング



森の中の生物を探す

森の中は研究が一杯

森の中の子供達



森で憩う親子

4 ヨーロッパ共同で強力な森林保護を促進する

—ヨーロッパ森林保護中央諮問センターをボンに設立— (2024・10・2)

ヨーロッパの国々は、森林保護に際して協力をより一層強化する。森林ヨーロッパ第9回閣僚会議において、汎ヨーロッパ森林政策プロセスの中で、44の加盟国とEU一委員会が、「森林保護中央諮問センター」の共同設立を決定した。”



中央諮問センター設立を公表する
オズデミール大臣

これは気候危機との関連で森林を被害から保護するための研究成果と、それを活用した対策と助言を該当する国々に可能な限り提供するものである。

ドイツはボンに設立するこのセンターに、2030年までに総額120万ユーロ(約2億円)の資金を拠出する。閣僚会議は持続可能な森林管理の実行に際して、汎ヨーロッパ共同活動のさらに強化すべきことを決定した。なお、ドイツは4年間務めた森林ヨーロッパ会議議長職の役割をスウェーデンに引き継ぐ。

このセンター設立に関してオズデミール大臣が述べた：“ヨーロッパは森林保護でより一層協力して取組む。これはこの会議から発する重要なシグナルである。気候危機は国境に留まることはないことから、国際的な問題解決が必要となる。このため、森林ヨーロッパ会議が重要である。我々は新しい森林保護中央諮問センターを、将来的な研究知見に効率的に結びつけ、各機関へのアクセスを強める。我々は忘れてはならない。森林は気候危機との闘いにおいて最も良い仲間であることを。

しかし、同時に森は気候変動の結果に特に強く遭遇している。我々は自らの森林を強くしなければならない。例えば、暑さと増大する干ばつに抵抗する能力を、森に付与すること。気候変動にに対して耐久力のある森林のみが、将来的にも炭素を取り込み、価値の高い建材となる木材を供給できる。

私は森林の多い国であるスウェーデンに、森林ヨーロッパの会議議長国の引継ぎを喜んでいる。そして私の同僚スウェーデン議長に、この課題で多くの成果を願っている。このセンターは、エキスパート ネットワークとして、ヨーロッパのパートナーとイニシアチブのための常設拠点である。”

このセンターは森林リスクに関して、国境を越えて取組む共同活動を強化する（例えば、暴風、森林火災そして害虫のような）。加えてこれはプラットホームとして、実践的な行動指針の発展と政策的な戦略並びに大災害のリスクマネジメントへの助言にも役立つ。

背景：

「森林ヨーロッパ」は、大臣レベルの汎ヨーロッパ森林政策プロセスである。持続可能な森林経営に関する指針、基準そして指標を設定している。第9回閣僚会議では”耐久力のある森林でもって我々の未来を形成”のモットーの下に、署名各国、EU-委員会並びに50以上のオブザーバー組織一国々の高位代表者が、このテーマでもって議論を行った。そのテーマは森林の回復力、持続可能な森林管理または青少年との結びつきであった。連邦食料・農業省は、ドイツの議長職の一環において、イニシアチブ・ウクライナの森林回復と持続可能な管理と林業分野の支援も開始する。

気候変動による森林被害



暴風による倒木



森林火災の消火活動



干ばつによる樹木の枯死



キクイムシの被害樹



キクイムシ



第9回閣僚会議決定に署名



第9回フォーレスト・ヨーロッパ閣僚会議参加者

2024・10・10 訳
青森中央学院大学
地域マネジメント研究所
中川 一徹